



ハムフェア二〇一八での募集広報活動

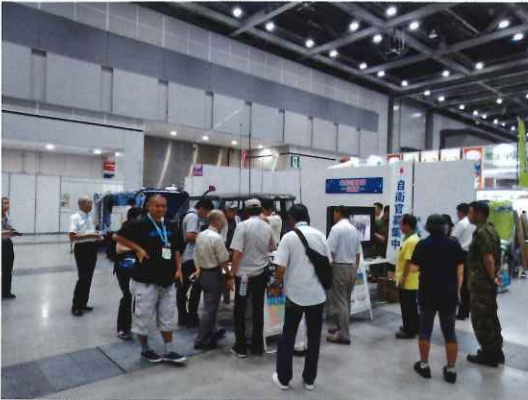
東京地本江東出張所（所長 嶋川 康一三等海佐）は八月二十五日（土）・二十五日（土）・二十六日（日）、江東区東京国際展示場において実施されたアマチュア無線フェスティバル「ハムフェア二〇一八」において、第一普通科連隊第三中隊（練馬）及び通信学校（久里浜）の支援を受けて自衛官の募集広報活動を実施した。当イベントは、一般社団法人日本アマチュア無線連盟が主催する国内アマチュア無線業界最大のイベントで、広く一般の方にアマチュア無線を紹介するとともに、アマチュア無線家相互の情報交換と友好を深めることなどを目的として開催される。このイベントに江東出張所が参加するのは今年で二回目である。

当該会場には、日本アマチュア無線連盟が所管するコーナーや各企業が出展するコーナーなど合計二百四十を超える団体の展示品等が並び二日間で約三万九千人が来場した。

江東出張所では広帯域多目的無線機を搭載した小型車（バジエロ）の展示、や通信学校の前期教育課程の映像説明とともに、立ち寄った来場者に対して自衛隊の冊子、パンフレット、自衛隊グッズを配布し、特に参加中の方から多くの対象者情報を得ることができた。

来場者からは「実は私の子供も自衛官となり、たくましく成長している姿を誇らしく思います。皆様も頑張ってください」、「災害派遣が続いていて大変だと思いますが頑張ってください」等の激励をいただいた。

東京地本江東出張所では今後も地域に密着した募集・広報活動を各部隊等と連携を図りながら、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げるとしている。



文京区防災フェスタでの広報活動

東京地本台東出張所（所長 紺野 稔一等陸尉）は八月二十六日（日）、文京区希望の森公園・文京スポーツセンターで実施された「平成三十年度防災フェスタ」において第一普通科連隊第二中隊の支援を受け広報活動を実施した。

本防災訓練は、文京区が主催となり首都直下型大規模地震発生等を想定して、いざという時に区と区民、防災関係機関が協力して円滑な活動が実施できるように取り組んでいる事業である。

会場では初期消火訓練や倒壊家屋からの救出・救助訓練をはじめ様々な訓練等が行われている中、台東出張所は広報ブースにおいて、西日本豪雨や熊本地震等における防災パネル展示、ミニ制服試着撮影コーナーや偵察用バイクの試乗の他、屋外では軽装甲機動車の展示やカリーの炊き出しを行った。

各コーナーとも多数の来場者が足を止め見学等していたが、特に自衛官の制服試着コーナーには撮影待ちをする親子連れなどで長い行列ができてきたり、カリーの炊き出しコーナーでは用意した分があつという間に品切れになるほどの盛況ぶり。イベントの途中には成澤文京区長も視察に訪れていた。

参加者からは「今日はとても良い記念になりました。ありがとうございました」、「災害が発生して困った時に自衛隊の能力は頼もしい」等の声をいただくことができた。

東京地本台東出張所では今後も地域に密着した募集・広報活動を各自治体、部隊等と連携しながら実施して、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げるとしている。

